

令和3年度 富岡公民館事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

地域住民にとって最も身近な学び・交流の場として、学びを通じ地域住民に親しまれるような公民館活動を推進します。

地域づくり協議会を支援し、地域力の向上に取り組みます。

(2) 重点施策

○社会教育・生涯学習の機会の場を提供します。

○住みよいまちづくりのため、地域づくり活動を推進し、地域の課題解決力の向上を目指します。

○地域で支え合う、子育て支援の推進を図ります。

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
小学生 青少年	地域交流・子育て 支援・ボランティア	冬・春休み無料学習会	12月 3月	141人	2回	共催
成人	健康講座	機能改善体操と貯筋運動（第1期）	4～7月	46人	8回	主催
		機能改善体操と貯筋運動（第2期）	10～1月	87人	8回	主催
成人 女性	ものづくり講座	ポーセリンホビー教室	10月	5人	1回	主催

3 主な事業紹介

(1) 事業名・講座名 『機能改善体操と貯筋運動』

①ねらい

高齢者や誰でも無理なく体操をすることで、身体的な機能の改善や筋力増強を図る。また、コロナ禍で低下した運動能力を体操により使うことで、健康寿命の延伸や心も体もリフレッシュできる。

②事業内容

「みんなで伸ばそう健康寿命」「使って貯めよう筋肉貯筋」参加者に「貯筋通帳」をプレゼントする。通帳に参加履歴を記録することにより、グングン参加意欲が上がり運動がますます楽しくなります♪

(2) 事業の評価・反省

コロナ禍において、運動不足やストレスから心身に不調をきたす健康被害が懸念される中、機能改善運動をすることで免疫力を高め病気に強い自身を構築します。教室に参加されたみなさんが、笑顔で気持ちよく運動している姿を見て、健康で明るく日々を過ごせることが大切なことだと再認識することができました。



4 今年度のまとめ（評価・反省）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、予定していた事業の中止、縮小を余儀なくされました。そのような状況で、ニーズに寄り添った事業実施を行いました。女性参加者のみとなりました。

公民館を利用する住民や団体の固定化・高齢化により、公民館の利用率は年々減少傾向にあります。更に、コロナ禍の終息が予測できない中、利用者の安全確保を最優先としつつ、主催教室に各種施策を基本にSDG s の考えを取り入れた企画を立案及び地域づくり協議会による主体的な活動を支援しながら、一層の事業展開を行い、地域の方が自分ごとと考え事業活動に関わりやすい繋がり方を検討していく必要があります。